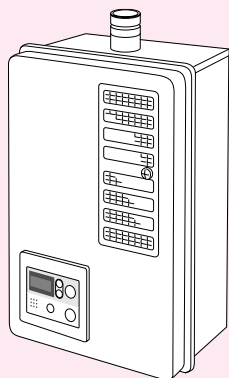


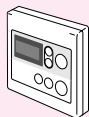
ガス給湯器

133-4070型

< BL認定品 > 型式名 GQ-1623WD-F



(133-4070型)



(浴室リモコン別売品)

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意) ……	1
各部のなまえとはたらき(機器本体) ……	8
各部のなまえとはたらき(操作部) ……	9
各部のなまえとはたらき(リモコン) ……	11
初めてお使いになるときは ……	13
使いかた	
時計を合わせる・時計を表示させる ……	14
お湯を出す/お湯の温度を調節する ……	15
お湯はりをする ……	17
浴室から操作部のチャイムを鳴らす ……	19
操作確認音の消しかた、鳴らしかた ……	19
表示節電の設定を変更する ……	20
冬期の凍結による破損予防 ……	21
日常の点検・手入れのしかた ……	23
故障かな?と思ったら ……	25
アフタ - サ - ビスについて ……	29
主な仕様 ……	30

取扱説明書

大阪ガス

- このたびは大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - ・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
 - ・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SAQ8074



SAQ8074 T

必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ 危害・損害の程度による内容の区分



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。

お願い

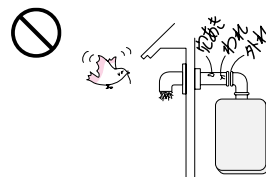
安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■ 注意・禁止内容の絵表示

	感電注意		禁止
	高温注意		火気禁止
	アース必要		接触禁止
			分解禁止

⚠ 危険

排気筒の外れ、穴あき、つまり



排気筒が外れていたり穴があいていないか確認してください。
排気筒トップに鳥などの巣ができていたり、ゴミなどがつまったりしていないか確認してください。
排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

ガス漏れ時の処置



火気禁止



ガス漏れに気づいたときは、次の1～3の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけない。

電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しをしない。

周辺の電話も使用しない。

火や火花で引火し、火災のおそれがあります。

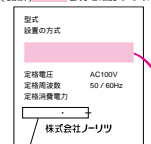
1. すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
2. 窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
3. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

警告

使用ガス、電源の確認



(銘板) 部分を確認してください。



製造年・月を示します。

(例：L P ガスの場合)
L P ガス用

(例：都市ガスの場合)
都市ガス用
13A
12A

銘板(ラベル)に表示しているガスの種類以外では使用しないでください。

表示以外のガスで使用する、異常な燃焼・点火の時の爆発などの原因になります。

電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。

他の電源を使用すると、火災・感電の原因になります。

わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

やけどに注意



高温注意



シャワーなどお湯を使用するときは、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。

やけど予防のため。



入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。

やけど予防のため。

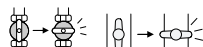
製品の設置・移動工事は

製品の設置・移動及び付帯工事は、販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。

思わぬ事故を予防するため。

異常時・緊急時の処置

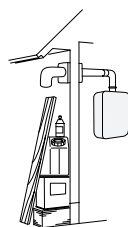
1. 給湯栓を閉める。
2. 運転スイッチを「切」にする。
3. ガス栓・給水元栓を閉める。



異常時 排気筒トップから煙が出る、こげ臭いなどまたは、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐに販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

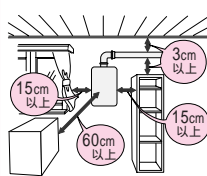
火災・感電・故障などの予防のため。

火災の予防



機器や排気筒トップのまわりに燃えやすい物(洗濯物、新聞紙、木材、灯油、スプレー缶など)を置かないでください。火災の原因になります。

周囲の防火措置について



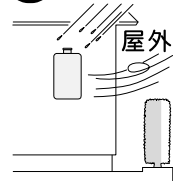
アフターサービス上の寸法です。

機器のまわりに燃えやすい物(新聞紙、木材、灯油、スプレー缶など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。

火災予防のため。

警告

屋外設置の禁止



この機器は屋内設置形です。屋外への設置は絶対にしていただきません。雨水が侵入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。

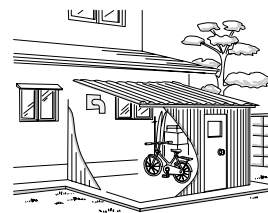
給気口のつまり



給気口にゴミなどがつまっている場合は取り除いてください。不完全燃焼の原因になります。

波板囲いなどの禁止

増改築などによって、排気筒トップを屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



機器・操作部・リモコンの分解禁止



分解禁止

機器・操作部・リモコンは絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

注意

やけどに注意



接触禁止

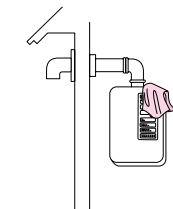


排気筒・排気筒トップのまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。

やけど予防のため。

特に、小さなお子様のご家庭ではご注意ください。

給気フィルターのつまり



給気フィルターは物などでふさがらないでください。給気フィルターがゴミやほこりなどでふさがれていないか確認してください。不完全燃焼の原因になります。

⚠️ 注意

機器のまわりはきれいに

機器のまわりはいつもきれいにしておいてください。

まわりが雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

用途について

台所・お風呂などの給湯、シャワー以外の用途には使用しないでください。

思わぬ事故を予防するため。

機器や配管内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いず雑用水としてお使いください。

ヘアースプレーなどの禁止

機器の近くでヘアースプレーやスプレー洗剤などの使用はしないでください。

故障の原因になります。

乾電池に関する注意 (お願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処置を依頼してください。

もしお客様で旧機器の処置をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処置をしてください。

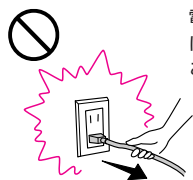
電源プラグは確実に



電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

抜き差しはプラグを持って



電源プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなってください。

コードを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・火災の原因になります。

感電に注意



電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。感電の原因になります。

お願い

ア - スの確認



ア - スする!

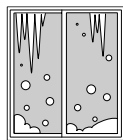
この機器には、ア - スが必要ですので確認してください。機器が故障した場合、感電の原因になります。

積雪時の注意

積雪時には排気筒トップの点検、除雪をおこなってください。

排気筒トップへの積雪や屋根から落ちた雪により、排気筒トップがふさがれて不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

凍結に注意



冬期は、凍結による機器の破損予防のため必要な処置をしてください。

(☞P21,22)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

長期間使用しない場合

長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。

(☞P22)

特監法対象製品です

この製品の設置工事及び変更工事は、法律(特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律)に基づいておこない、工事完了後機器と排気筒に法定のステッカーを貼り付けることになっておりますので確認してください。

停電時の処置

停電したときは、運転が停止します。停電後、設定した現在時刻がリセットする場合がありますので確認してから使用してください。

(電源プラグを抜いたときも同じです。)

操作部・リモコンについて



操作部・リモコンの掃除には、ベンジンや油系系の洗剤を使わないでください。

変形する場合があります。

浴室リモコンは防水型ですが、故意に水をかけないでください。

故障の原因になります。

(操作部、増設リモコンは防水型ではありません。)

操作部、増設リモコンに炊飯器、電気ポットなどの蒸気を当てないでください。

故障の原因になります。

排気ガスについて

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置してください。

増改築時も同様に注意してください。

ガラスが割れたり、変色する原因になります。

日常のお手入れ

浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

お願い

ガス事故防止

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

太陽熱温水器との接続時の注意

太陽熱温水器と接続できますが、高温のお湯が出るなど、やけどの危険がありますので、注意して使用してください。

市販の補助用具使用について

この機器の純正部品以外は使用しないでください。

思わぬ事故を予防するため。
水圧の低い地域では、泡沫水栓を使用しないでください。
給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ(金網)を掃除してください。
(わからないときは、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください。)

温泉水や家用井戸水で使うと

水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合があります。

結露現象に注意

水を出すときには、給湯器の運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すことはしないでください。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

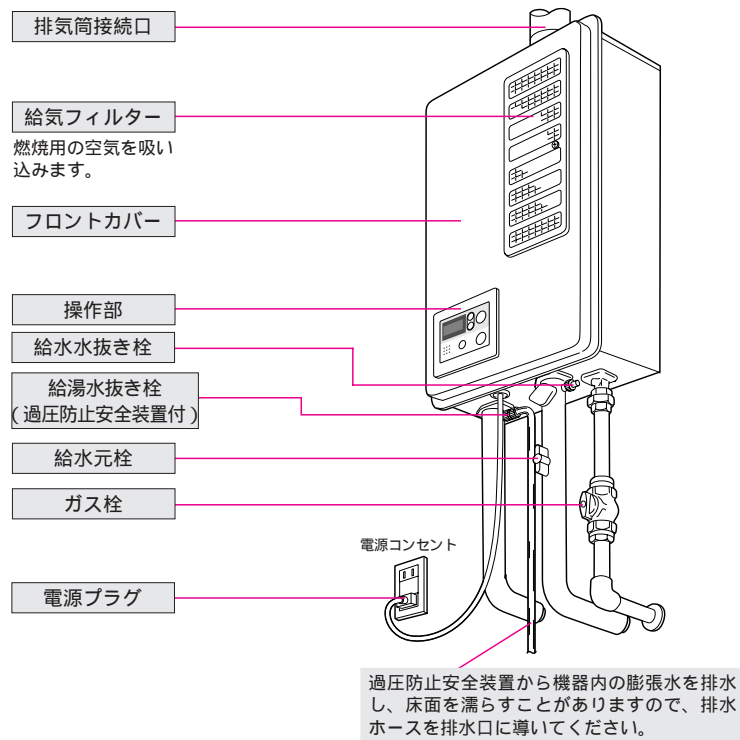
お湯を出すときには、給湯器の運転スイッチが「入」であることを確認してお湯を出してください。
運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すと、熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因となったり、電気部品の損傷につながります。

この製品は一般家庭用です

業務用のような使い方をされると製品の寿命を短くします。この場合の修理は保証期間内でも有料になることがあります。

機器本体

133-4070型
【屋内壁掛強制排気形】



COセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)内蔵です

COセンサーが不完全燃焼を感知し、自動的に燃焼を停止させます。

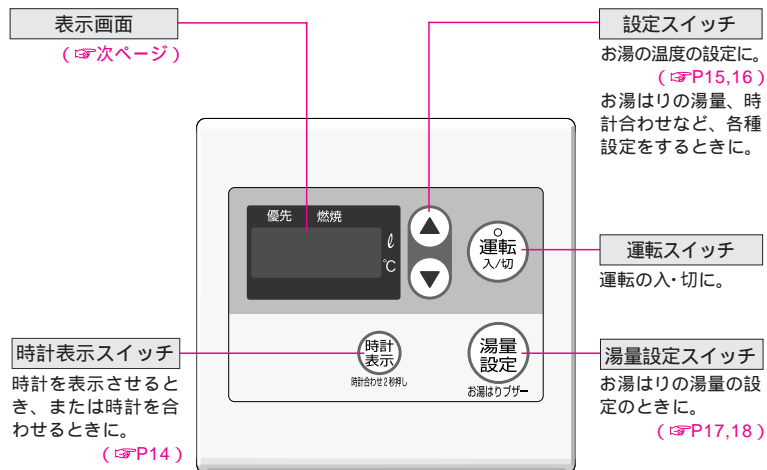
上のイラストは施工例です。

配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

各部のなまえとはたらき(操作部)

操作部

(機器に組み付けられています)

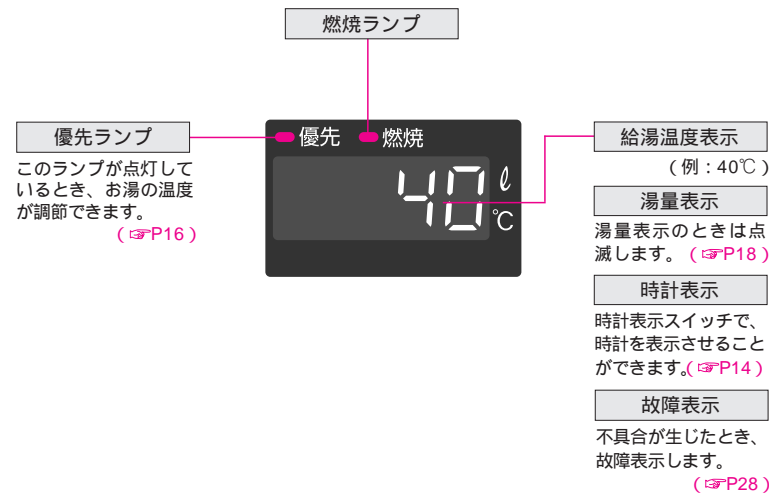


ご使用になる前に、操作部表面の保護シートを取り外してください。

増設リモコンなどの別売品をお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



操作部・リモコンの無駄な電力消費を防ぐ<表示節電>

操作部・リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。

表示節電の場合の画面の変化 ▶▶▶▶▶▶



使用しないまま
時間がたつと



画面が消えても、運転が「入」の状態です

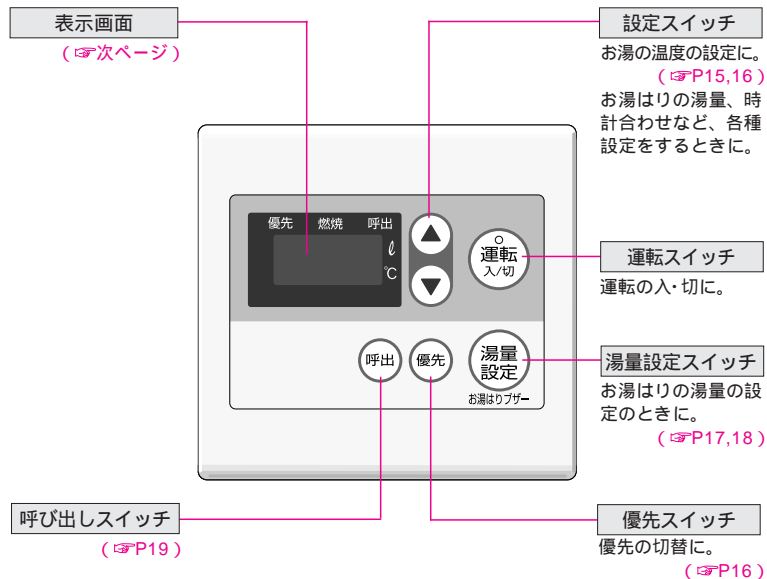
再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、再び表示します。
時計表示をしているときは、表示節電しません。

なお、画面を消さないようにすることもできますが(☞P20) 表示節電の設定をおすすめします。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

浴室リモコン(138-0031型)<別売品>

(浴室などに取り付けます)

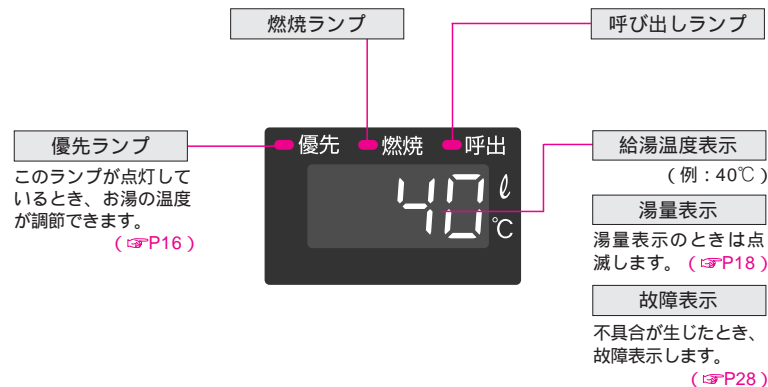


ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

増設リモコンなどの別売品をお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

表示画面

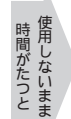
下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



操作部・リモコンの無駄な電力消費を防ぐ<表示節電>

操作部・リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。

表示節電の場合の画面の変化 ▶▶▶▶▶



画面が消えても、運転は「入」の状態です

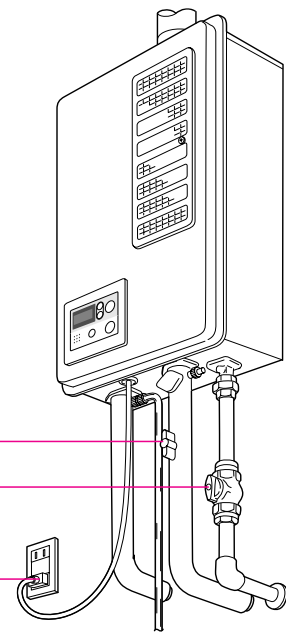
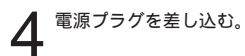
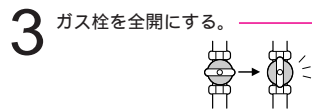
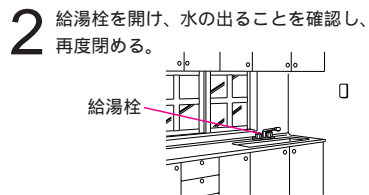
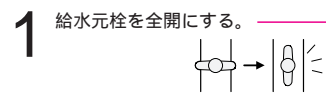
再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、再び表示します。
時計表示をしているときは、表示節電しません。

なお、画面を消さないようにすることもできますが(☞P20) 表示節電の設定をおすすめします。

初めてお使いになるときは

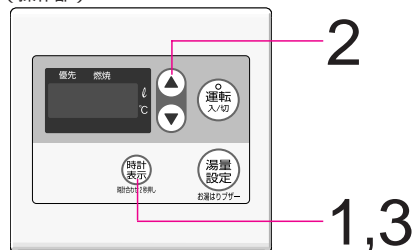
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～4 の手順でおこなってください。



使いかた 時計を合わせる・時計を表示させる

(操作部)



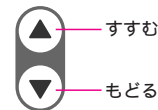
運転スイッチの「入・切」に関係なく、時計合わせや時計を表示させることができます。(イラストは「切」の状態です)

時計を合わせる

1 時計表示スイッチを約2秒押し
(「0:00」が点滅するまで)



2 時計を合わせる



一度押す毎に1分ずつ変わります。押し続けると10分ずつ変わります。



3 時計表示スイッチを押す



点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。



時計を表示させる

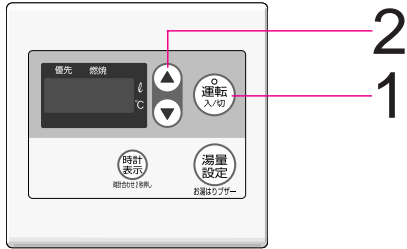
時計表示スイッチを押してください。
もう一度押すと、時計表示が消えます。



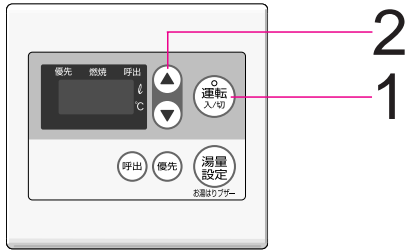
- ・時計表示中に、お湯を使用したりお湯の温度を変更したりすると、時計表示は消えます。
- ・お湯の使用途中や、60℃、75℃の高温設定時に時計表示スイッチを押すと、10秒間時計表示し、その後、元の画面表示に戻ります。
- ・停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電すると「0:00」に表示が変わりますので、時計合わせをしておいてください。
- ・時計表示をしているときは、表示節電しません。

使いかた お湯を出す/お湯の温度を調節する

(操作部)



(浴室リモコン)



ここでは操作部でご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを押す



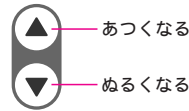
温度表示が点灯します。



前回到設定した温度
(例: 40℃)

<一度設定すると記憶します>

2 温度を調節する (変更しないときは 温度を確認する)



お湯の温度

3 給湯栓を開ける



4 給湯栓を閉める



警告



やけど予防のために

高温注意

シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手で湯の温度を確認してから使用してください。

60℃, 75℃に設定したときは温度表示が点滅(約10秒)後、点灯して高温が出ることをお知らせします。

表示の温度をよく確かめてから使用してください。60℃, 75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。

表示節電がはたらいて画面表示が消えている場合(※P10,12)、給湯栓を開けると再び画面表示しますので、給湯温度をよく確かめてから使用してください。

シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。

シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は「優先」を切り替えしないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。



<操作部表示画面>



約10秒間点滅 点灯



(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、
実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
食器洗い など	シャワー、給湯など							給湯など			高温		

初期設定(工場出荷時) = 40℃

いったん運転を切り、再使用する場合、前回の設定温度が75℃のときは、安全のため60℃になります。

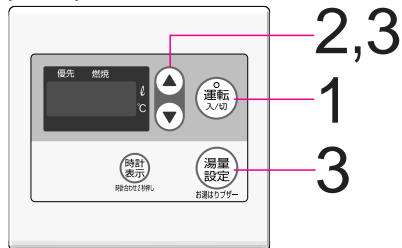
お湯の温度を調節できない場合は以下の操作をしてください - 優先切替 (操作部・浴室リモコンの両方がある場合)

	湯温調節できない状態	湯温調節するには(優先切替)	湯温調節できる状態	
浴室リモコン	点灯していない 優先 燃烧 40℃	優先スイッチを押す 優先	点灯 優先 燃烧 呼出 42℃	優先ランプが点灯し、その操作部・浴室リモコンでお湯の温度を調節できます。
操作部	点灯していない 優先 燃烧 42℃	運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする 消灯 点灯 運転 入切	点灯 優先 燃烧 40℃	
				設定温度は例です。

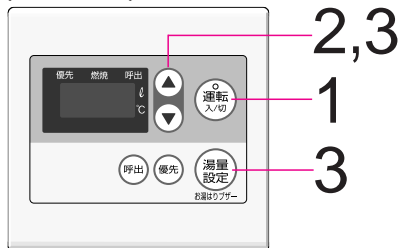
お湯はりにこの操作をすすと、設定した湯量では、お湯はりブザーは鳴りません。

使いかた お湯はりをする

(操作部)



(浴室リモコン)



ここでは操作部でご説明します

< 運転スイッチ「切」のとき >

< 一度設定すると記憶します >

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうのふたをする。(給湯栓の蛇口の部分は開けておく)

1 運転スイッチを押す



温度表示が点灯します。



前回は設定した温度(例: 40°C)

2 温度を調節する (変更しないときは 温度を確認する)



お湯の温度



警告

優先ランプのついている操作部・浴室リモコンの給湯温度でお湯はりします



高温注意

浴室リモコンでお湯はり温度を設定しても、お湯はりに中に操作部側に優先を切り替えると、おふるもその温度でお湯はりします。

操作部で高温に設定している場合などは特に注意してください。

設定した湯量になったときに
操作部・浴室リモコンの
ブザーが約10秒間鳴って
お知らせします。

(お湯は自動的に止まりません)



お湯はり温度の目安

(°C: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

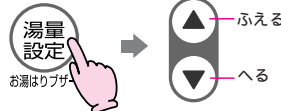
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

初期設定(工場出荷時) = 40°C

< 一度設定すると記憶します >

3 湯量を調節する (変更しないときは 湯量を確認する)

湯量設定スイッチを押し(湯量表示点滅)
設定スイッチで調節する。



40 ~ 260ℓ(20ℓきざみ)・300・350・
400・990ℓの値で調節できます。
(目安の量)

(注) 990ℓの場合、ブザーは鳴りません。



お湯はりの湯量 点滅(例: 180ℓ)
点滅中に調節できます。
10秒後、温度表示に変わります。

4 給湯栓を 開ける



点灯



サーモ付混合水栓の場合
は、水栓側の温度設定を
最も高温にしてください。

5 ブザーが鳴ったら 給湯栓を閉める

ブザー(ピピッ音)が鳴ったら
設定量をお湯はりしました。
お湯を止めてください。



(注) 990ℓの場合、ブザーは
鳴りません。

消灯

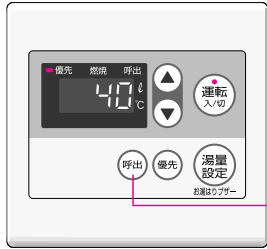


操作部・浴室リモコンのどちらに優先があっても関係なく、湯量の設定ができます。
お湯はりに中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。
残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っている湯(水)の量だけ、
設定したお湯はりの湯量より多くなります。
前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
お湯はりをしていないくても、台所・他で設定した湯量まで連続してお湯を使用すると、お湯はりブザーが鳴ります。

使いかた(浴室リモコンがある場合)

浴室から操作部のチャイムを鳴らす

(浴室リモコン)



浴室にいるときに、何か必要な物があつたり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼び出しスイッチで知らせることができます。



呼び出しスイッチを押す



呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

操作部でチャイムが約3秒間鳴ります。

使いかた

操作確認音の消しかた、鳴らしかた

1、2の操作で、各スイッチを押した時の「鳴らす」「消す」の切り替えができます。
初期設定(工場出荷時)＝「鳴らす」

操作部・リモコンで個別に設定できます

1 運転スイッチを「切」にする



2 運転スイッチを約5秒間押しつづける



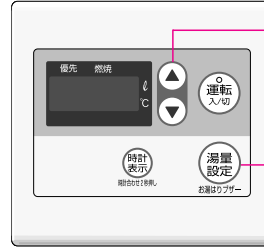
変更後は運転「入」になります。操作確認音「消す」から「鳴らす」に切り替えたときは、約5秒後に「ピッ」と音がします。

呼び出しチャイムおよびお湯はりブザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

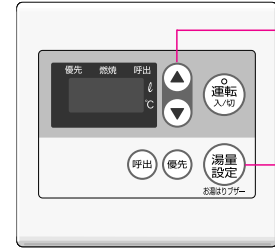
使いかた

表示節電の設定を変更する

(操作部)



(浴室リモコン)



操作部・リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと表示画面が消えます。(運転ランプのみ点灯)
再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。

初期設定(工場出荷時)＝表示節電する

操作部・リモコンそれぞれで設定してください

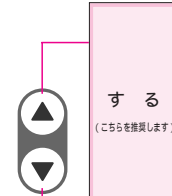
1 運転「切」の状態、湯量設定スイッチを約2秒間押す



《ON》が点滅します。



2 設定スイッチで変更する



無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。(運転ランプのみ点灯)
再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。



運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。



3 そのまま放置する

そのまま約30秒放置しておくで、運転「切」の状態に戻ります。
そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

冬期の凍結による破損予防

冬期には機器や配管内の水が凍結し、破損することがありますので、以下の方法で凍結を予防する必要があります。

通常の寒さのとき [外気温-15℃までで無風のとき]

自動的に凍結予防します。

電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。
運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

気温が下がってくると、凍結予防ヒータが自動的に作動して機器内を保温し、凍結を予防します。

凍結予防ヒータでは、給水・給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できません。
必ず保温材または、電気ヒータを巻くなどの処置をしてください。
(わからないときは、販売店に確認してください。)

冷え込みが厳しいとき [外気温が極端に低くなる日(-15℃以下)や、それ以上の気温でも風のある日]

以下の要領で、通水による凍結予防をしてください。

電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を閉める。
3. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)を流したままにしておく。



サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。

結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でご湯栓から水をささないようお願いしていますが、凍結予防の処置の場合は問題ありません。
(P7)

この方法は、機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。
やけど予防のため、この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

凍結して水が出ないとき

1. ガス栓・給水元栓を閉める。
2. 運転スイッチを「切」にし、給湯栓を開ける。
3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになって、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ、P13「初めてお使いになるときは」の順にしたがって使用してください。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

長期間使用しないとき

以下の要領で水抜きをしてください。



お湯の使用後は、本体内のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

床に水がこぼれないよう容器などで排水を受けてください。

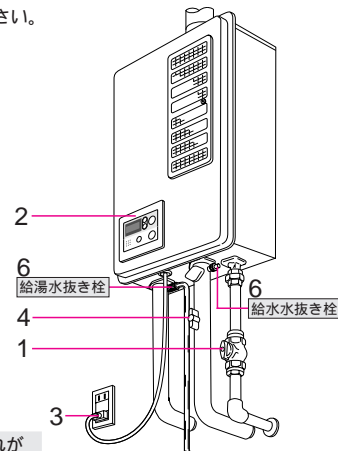
1. ガス栓を閉める。
2. 運転スイッチを「切」にする。
3. 2の操作より10秒以上経過後、電源プラグを抜く。
ぬれた手でさわらないで

4. 給水元栓を閉める。
5. すべての給湯栓を全開にする。

6. 給水水抜き栓・給湯水抜き栓を左に回してははずす。
(水抜き栓からお湯または水が約700cc出ます)
水が十分に抜けていなければ凍結し、破損するおそれがあります。

7. 6の操作より10分間経過後、完全に排水したことを確認し、給水水抜き栓・給湯水抜き栓、およびすべての給湯栓を閉める。
給水水抜き栓・給湯水抜き栓を逆に取り付けしないでください。

この方法では、給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。
必ず保温材または、電気ヒータを巻くなどの処置をしてください。
(わからないときは、販売店に確認してください。)



再使用のとき

1. 給水水抜き栓・給湯水抜き栓が閉まっていることを確認する。
2. すべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
3. P13の「初めてお使いになるときは」の順にしたがってください。

日常の点検・手入れのしかた

注意

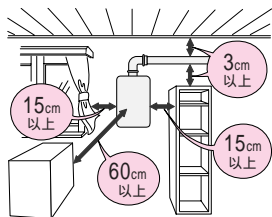
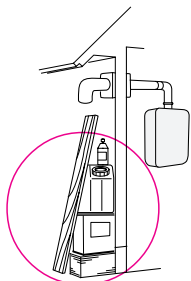


点検・お手入れは、運転「切」にしておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけどの予防のため。

点検(月1回程度)

チェック!

機器や排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていませんか。



アフターサービス上の寸法です。

チェック!

運転中に機器から異常音が聞こえませんか。

チェック!

機器の外観に、異常な変色や傷はありませんか。

チェック!

機器・配管から水漏れはありませんか。

チェック!

排気筒トップがほこりなどでふさがっていませんか。

チェック!

給気フィルターがほこりなどでふさがっていませんか。

お手入れ(月1回程度)

機器

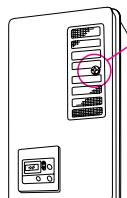
機器の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

操作部・浴室リモコン

操作部・浴室リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

操作部・浴室リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。
浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(操作部は防水タイプではありません。)

給気フィルターの掃除(月1回程度)



- 1 取付用ツマミを左に回して機器本体からはずす。
- 2 給気フィルターの右端を少し手前に浮かせながら右に引き出してはずす。
- 3 給気フィルターを水洗いする。
やわらかいブラシなどを使って、金網に強い力をかけないようにする。
- 4 水洗い後はよく乾燥させてから、1～2の逆の手順で取り付ける。

給気フィルターはベンジン・シンナー・みがき粉などでふいたり、液状殺虫剤や熱湯などかけたりしないでください。
故障の原因になりますので、給気フィルターを取りはずしたまま製品を使用したり、ぬれた給気フィルターを取り付けて使用しないでください。

< 定期点検のすすめ(有料) >

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら-1


「温度」に関すること

給湯栓を開いてもお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none">・ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？・断水していませんか？・給湯栓は充分開いていますか？・凍結していませんか？・ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？・LPガスの場合、ガスがなくなっていますか？・運転スイッチは「入」になっていますか？・機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none">・ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？・給湯温度設定は適切ですか？(P15,16)・夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
高温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none">・ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？・給湯温度設定は適切ですか？(P15,16)
給湯栓を絞りすぎて水になった	<ul style="list-style-type: none">・給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約2.5ℓ以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯温度の調整ができない	<ul style="list-style-type: none">・操作部・浴室リモコンの両方がある場合、操作している方の優先ランプは点灯していますか？(P16)

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	<ul style="list-style-type: none">・お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。・水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。・お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
------------------	---

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">・停電していませんか？・電源プラグが差し込まれていますか？
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	<ul style="list-style-type: none">・停電後または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度や時計表示がお買い上げ時の設定に変わりますので、設定しなおしてください。
時計表示を押すと、  に表示が変わっている	
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	<ul style="list-style-type: none">・表示節電によって、機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。(P20)
スイッチを押したらスイッチの機能がはたらかず給湯温度表示画面になる	<ul style="list-style-type: none">・上記の場合も、再使用したり、いずれかのスイッチを押すと再び表示します。スイッチを押した場合は、一度押すと元の画面に戻り、もう一度押すとそのスイッチの機能がはたらかみます。
設定量までお湯はりしてもお湯はりブザーが鳴らない	<ul style="list-style-type: none">・お湯はりブザーは、給湯器で燃焼したお湯が設定量連続し出ると鳴るしくみです。サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の分だけ多いところでブザーが鳴ります。・お湯はり中に、操作部で優先を切り替えるため運転スイッチをいったん「切」にし再度「入」にした場合、設定した湯量ではお湯はりブザーは鳴りません。(P18)

「音」に関すること

運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする	<ul style="list-style-type: none">・再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。・再使用時にお湯の温度を早く安定させるためです。
運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を閉めたときに、モータが動く音(ウィン、ウィン)がする	

故障かな？と思ったら-2

その他

使用中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ・断水していませんか？ ・給湯栓は充分開いていますか？ ・ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？ ・LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？
寒い日に排気筒トップから白い煙が出る	・冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。
お湯が白く濁って見える	・これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
機器の給湯側の水抜き栓(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある	・本体内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴がおちることがあります。ホースの先を排水口に入れてください。

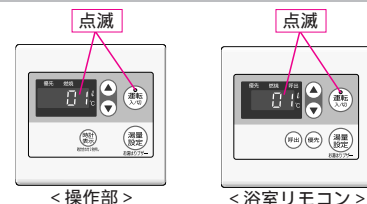
この機器には安全性を高めるためCOセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)が内蔵されています。このセンサーの耐用時間がくると「38」故障モードでお知らせします。販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。COセンサー寿命の場合は有料修理となります。

排気筒トップ先端に強い風が吹くと異常音が発生したり途中消火する場合がありますが、故障ではありません。給湯栓を閉めて再度操作してください。

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、その原因を故障表示と運転スイッチのランプが点滅してお知らせします。下表に応じた処置をしてください。

例:「01」を表示したとき、右図のような点滅をくりかえします。



表示	原因	処置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転をいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
11	点火エラーが生じたため	ガス栓が開いているか確認し、運転スイッチをいったん「切」にして再度「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
13	燃焼上不具合(一酸化炭素濃度) または、長時間ストーブなどの使用で部屋の酸素が不足したため	<p>【ブザーが鳴らないとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓を開けて十分な換気をしてください。 ・給湯栓を閉めてください。 ・給気フィルターが汚れている時は給気フィルターをはずして掃除してください。(P24) ・運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。レンジフードや換気扇を「弱」にしてください。 <p>【ブザーが鳴るとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(ブザーは運転スイッチを「切」すれば止まります。) ・窓を開けて十分な換気をしてください。 ・製品に異常があります。販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
05	燃焼上不具合(一酸化炭素濃度)	同上
16	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
38(常に表示)	COセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)に異常が生じています	販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
運転ランプのみ点滅 ↓ 運転スイッチを「切」にすると 38	COセンサー(一酸化炭素濃度検出装置)が耐用時間をこえています	そのまま放置しておくと、ブザーが鳴ったり使用不可能になります。販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

- ・上記以外の表示(例:51など)が出るとき
- ・上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- ・その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼される時

25～28ページの「故障かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

品名 …………… 133-4070型
 本体の正面左に貼付の銘板をご覧ください
 (下記のように製品名を記載しています)

(P)133-4070(U)
 大阪ガス株式会社

お買い上げ日 … 保証書をご覧ください
 異常の状況 …… 故障表示など、できるだけ詳しく
 ご住所・ご氏名・電話番号
 訪問ご希望日



保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
 必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
 保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後10年です。
 但し、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。
 なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
 不明のときは、移設先のガス事業所・お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設される時は、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

16号		
製 品 名	133-4070型	
型 式 名	GQ-1623WD-F	
種 類	給湯方式 止止め式	
設 置 方 式	屋内設置形	
点 火 方 式	放電点火式	
使 用 水 圧	kPa 98.1～981 (1.0～10.0kgf/cm ²)	
作 動 水 圧	kPa 9.81 (0.1kgf/cm ²)	
最 低 作 動 流 量	ℓ/分 2.5	
外 形 寸 法	mm 高さ560×幅350×奥行170	
質 量 (本 体)	kg 18	
接 続 口 径	給 湯	R1/2
	給 水	R1/2
	ガ ス	R1/2
電 気 関 係	電 源	A C 100V (50/60Hz)
	消費電力(50/60Hz)	65 / 65
	W	(凍結予防ヒータ 125)
待 機 消 費 電 力	運転スイッチ「入」時 6W(通常モード) 約4.5W(省電力モード) 運転スイッチ「切」時 約4.0W	
湯 温 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式	
安 全 装 置	立消入安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、COセンサー	

能力表

製品名は仕様表を参照してください。

型 式 名		GQ-1623WD-F	
使 用 ガ ス	1時間当りのガス消費量(最大消費量) 都市ガス=kW(kcal/h) LPガス=kW(kg/h)	出湯能力(最大時) ℓ/分	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用 13A	34.9 (30,000)	16	10
L Pガス用	34.9 (2,50)	16	10